

1. 支援する分野

伝統的工芸品産業

2. 支援する地域及び核となる事業者

地域：鹿児島県全域

事業者：県内の国指定伝統的工芸品産地組合
国・県指定伝統的工芸品事業者



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

鹿児島県には国・県指定の伝統的工芸品が多数存在するが、ライフスタイルの変化に伴い長期的な需要が低迷している。

個々の事業者においては、販路開拓や情報発信の面で十分な対応が困難な事業者もあり、収益力の向上や産業としての持続的発展に課題を抱えている。

また、事業者の高齢化や後継者不足の進行により、技術の継承においても課題を抱えている。

（2）目指すべき目標（R12）

付加価値増加額（KGI）：5,500万円
（R6年53,844万円⇒R12年59,344万円）

4. 勝ち筋

【商品開発力・販売力の強化】

経営基盤が脆弱で手作業、分業体制、受注生産が主体となっているため、現代のライフスタイルやインバウンド需要を踏まえターゲットを明確にし、商品開発力や販売力の強化を図る。

【後継者の確保と伝統技術の継承】

後継者の確保や伝統技術の継承、マーケットインによる商品づくりや販売戦略を立てるため、若手人材とのマッチングの機会を創出する。

5. 政策手段

【市場開拓】

- ・近年増加するインバウンド等をターゲットとした新商品や体験メニューの開発、海外での展示会への出展など、事業者の取組を支援する。
- ・県外消費者を対象とした「産地ツアー」を企画し、産地において伝統的工芸品の魅力を体感してもらい需要の拡大を目指す。また、発信力の高いインフルエンサー等を招へいし、産地や地域性を含め魅力発信を行う。

【人材確保への取り組み】

- ・県内外のものづくり系学校の学生や若手クリエイター等を対象に、事業者や産地組合と連携したインターンシップやマッチングの機会を創出し、後継者の確保・育成を図る。